

ゼニガタアザラシの保護管理に関する 地域における取組について

資料1-9



被害状況の調査



被害状況の調査



生態調査・モニタリング

- ★漁業者からの混獲個体の提供
- ★地元関係者による捕獲調査との連携
- ★捕獲わな等による捕獲の実施



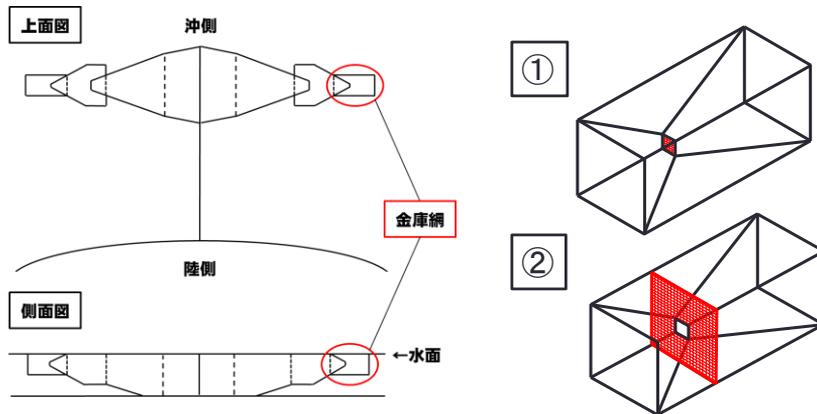
➡ 標識や発信機を装着し、放獣
上陸頻度の算出やモニタリング、防除策考案等へ活用



被害防除改良網の試験(推進費と連携)

★被害防除改良網:漁業者の意見を取り入れて構造を決定

- ①格子網によりアザラシの金庫網への入網を阻止。
 - ②仕切り網により金庫網の中でサケとアザラシを分離。
- ⇒漁期前、春・秋漁期中に漁業者の協力を得て実施。



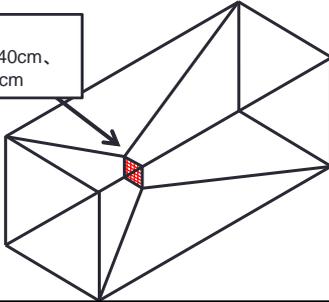
改良網試験に関わる作業



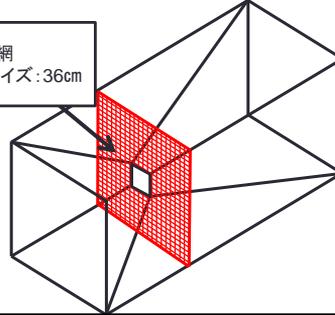
改良部分の構造



格子網
幅20×40cm、
20×20cm



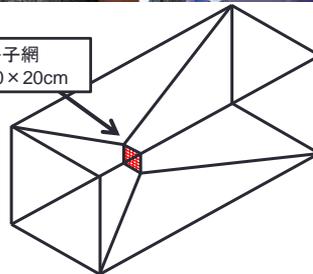
仕切り網
網目サイズ:36cm



格子網装着方法の工夫



格子網
20×20cm

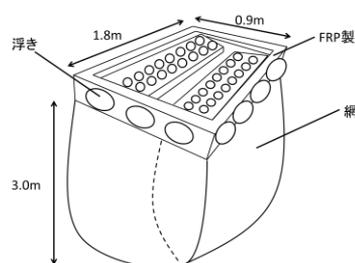


映像



アザラシ捕獲用わなの試験

- ★定置網に来遊する個体の捕獲
- ・定置網に近接して捕獲罟を設置
- ・誘引餌を入れ、生体捕獲に成功



忌避装置の改良(農大・道工技C等と連携)

- ★新たな音波忌避装置の試験
- ・漁港に生け簀を設置し、開発中の忌避装置に対するゼニガタアザラシの行動を観察。
- ・より効果的な装置への改良、設置方法の検討を行う。



漁業者との協力体制構築のために



調査期間中のフィードバック



調査後のフィードバック



研究者を交えた意見交換会



年度末の報告会

地域における信頼関係構築のために



協議会の開催



地域内外の一般市民への説明



地域の小学生による観察



地域の小学校における授業

これまでも、これからも。

